※令和４年度以降入学生用

学校番号	1202

令和５年度　理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新編物理基礎」（東京書籍）						
副教材等	「ニューサポート　新編物理基礎」（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ノートは使用しません。教科書とプリントを用いて授業します。
・自ら「どうなる？」と予測を立て，「なぜ？」と理由を考える習慣を身につけましょう。
・理系文系を問わず「考える力」を養える授業を心がけます。
・物理の勉強を通して成長する君たちの姿を期待します。

２　学習の到達目標

物体の運動とエネルギーに関して，理科の見方や考え方を働かせ，見通しをもって観察や実験を行い，次に示す資質や能力を育成する。
・日常生活や社会との関連を図りながら理解し，観察や実験などに関する技能を身に付ける。
・観察や実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
・主体的に関わり，科学的に探究する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	教科書等の忘れ物をせず，授業に積極的に取り組もうとしている。 観察や実験に自ら取り組み，科学事象に対して前向きに考察しようとしている
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td>1
学
期</td><td>運動の表し方・力とその働き</td><td>速度
加速度
落体の運動

力のはたらき
力のつりあい</td><td>a：時刻，速度，加速度，力について理解している。
a：「速さ」と「重力加速度」の実験の過程や結果を的確に記録し，整理している。
b：力がベクトル量であることを認識し，合成や分解ができる。
c：速度・加速度・力などの物理量を日常生活と関連付けながら，意欲的に学ぼうとする。</td><td rowspan="3">定期考査

実験器具の取り扱い

確認テスト</td><td rowspan="3">定期考査

パフォーマンス課題

実験レポート</td><td rowspan="3">授業対する姿勢

発問への返答

授業プリント</td></tr>
<tr><td>2
学
期</td><td>運動の法則・エネルギー</td><td>作用反作用の法則
運動の法則
慣性の法則

放射線
原子力</td><td>a：運動の三法則について理解している。
a：「放射線 測定＆観察」の実験の過程や結果を的確に記録し，整理している。
b：日常生活でおきる現象について，運動の三法に基づいて説明できる。
c：運動の法則あるいは放射線について，日常生活と関連付けながら，意欲的に学ぼうとする。</td></tr>
<tr><td>3
学
期</td><td>波・音波</td><td>波の性質
音と振動</td><td>a：媒質の振動と波形の移動，横波・縦波，音波について理解する。
a：「気柱共鳴」の実験の過程や結果を的確に記録し，整理している。
b：楽器の音の高低や強弱について，波という物理現象から説明できる。
c：音という現象について，日常生活と関連付けながら，意欲的に学ぼうとする。</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度